

会社概要・編集方針	2012年度ハイライト	トップコミットメント	金融機関として 取り組むべき優先課題	優先課題:ケーススタディ	SMFGにおけるCSR
盤石な経営体制	CS・品質向上への取り組み	環境活動	社会貢献活動	人の尊重と人材活用	各種データ集

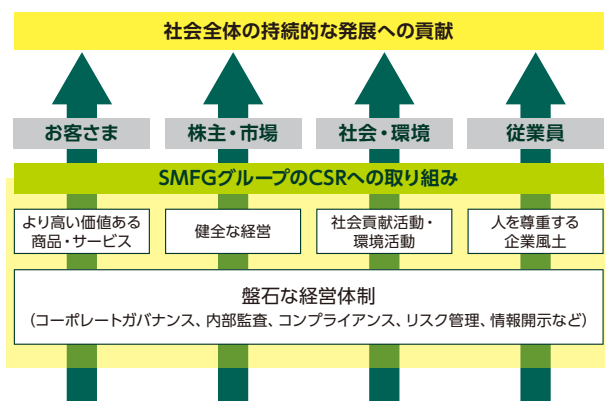
金融機関として取り組むべき優先課題

ステークホルダー・エンゲージメント

ステークホルダーを通じて、社会全体の持続的な発展に貢献

三井住友フィナンシャルグループでは、CSRへの取り組みにおいて、盤石な経営体制の下、4つのステークホルダーによりよい価値を提供することを通じて、究極的には社会全体の持続的な発展に貢献することを目指しています。

●当社におけるCSRの考え方



各ステークホルダーとの関係構築に向けて

お客さま

お客さまにより高い価値ある商品・サービスを提供し、お客さまとともに発展していきます。具体的な取り組みについては、以下リンクをご覧ください。

→ WEB CS・品質向上への取り組み
<http://www.smfg.co.jp/responsibility/cs/>

株主・市場

適切な情報開示を行うとともに、内部統制の整備を通じて、健全な経営を堅持し、株主価値の増大に努めます。具体的な取り組みについては、以下リンクをご覧ください。

→ WEB 株主・市場に対する情報開示とSRIインデックスへの組み入れ等
<http://www.smfg.co.jp/responsibility/smfgcsr/disclosure/index.html>

→ WEB 株主・投資家の皆さまへ <http://www.smfg.co.jp/investor/>

社会・環境

社会貢献活動・環境活動に継続的かつ積極的に取り組み、社会への貢献、地球環境の保全などに努めていきます。具体的な取り組みについては、以下リンクをご覧ください。

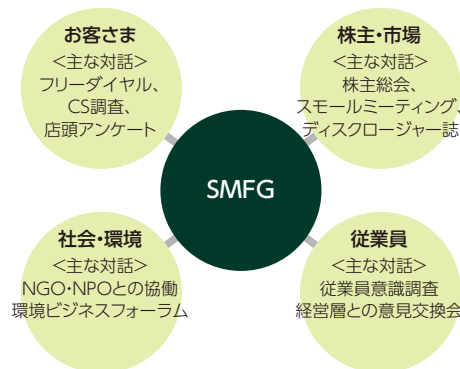
→ WEB 環境活動
<http://www.smfg.co.jp/responsibility/environment/>

→ WEB 社会貢献活動
<http://www.smfg.co.jp/responsibility/community/>

従業員

人を尊重し、従業員がその能力を遺憾なく発揮できる企業風土を醸成していきます。具体的な取り組みについては、以下リンクをご覧ください。

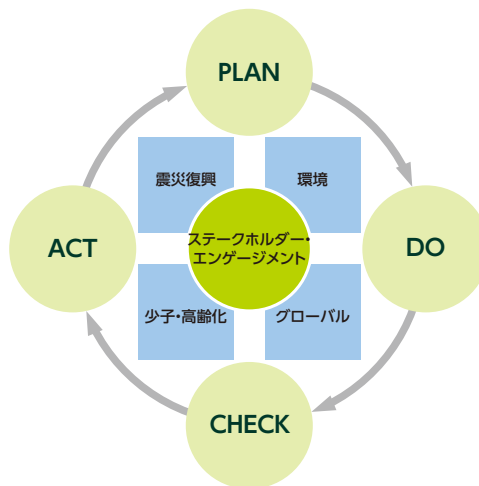
→ WEB 人の尊重と人材活用
<http://www.smfg.co.jp/responsibility/employee/>



優先課題解決に向けたPDCA機能を担う

当社グループでは、4つの優先課題(震災復興、環境、少子・高齢化、グローバル)の解決に向けた取り組みを、ステークホルダーへのエンゲージメントを通じて進めています。

取り組みに際しては、優先課題を中心に、ステークホルダーの皆さまとのダイアログを実施しています。



ステークホルダー・ダイアログ

2012年度に実施したダイアログ「少子化問題に関する企業への期待と役割」については次ページを、2013年度に実施したのダイアログ「金融機関の本業を通じたお客さまへのソリューション開発を目指して～『SMBC環境配慮評価融資/私募債』外部評価委員会～」については下記リンクをご覧ください。

→ WEB ステークホルダー・ダイアログ
http://www.smfg.co.jp/responsibility/csfinance/dialog_index.html